



さとし こうざき 聡 夢からはじまる

http://www.kouzakisatoshi.com



県政報告

自由民主党福岡県議団

令和7年8月号

昭和37年9月20日生
 平成23年4月福岡県議会議員初当選
 平成27年4月二期目
 平成31年4月三期目
 令和5年4月四期目
 添田町立添田小学校・添田中学校卒
 福岡県立田川高等学校卒
 日本大学商学部会計学科卒
 株式会社セメント株式会社入社・株式会社麻生情報システム転籍
 株式会社麻生情報システム代表取締役社長
 福岡県農林水産副委員長・福岡県総務企画地域振興委員長

自由民主党福岡県議団
 県民生活高工常任委員会委員
 国際化・多文化共生社会調査特別委員会副委員長
 福岡県議会議員 **神崎 聡**

日頃より県政活動に對し、温かいご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。福岡県議会議員として、また自民党県議団の一員として、これまで地域の課題解決に全力で取り組んでいます。とりわけ、田川地域の皆様の声をしつかりと県政に届けることを、常に胸に刻み、日々活動しております。

さて、先般執行されました参議院議員通常選挙では、福岡選挙区の松山政司候補、そして担当になつていました全国比例区の上東昭子候補を応援し、多くの皆様にご支援をいただきましたこと、改めて心より感謝申し上げます。参院選で自民党は39議席にとどまり、公明党と合わせて過半数の議席を維持できない大敗となりました。長期の経済停滞、重い社会保障負担に苦しむ現役世代が政治への不満と怒りを示した結果なのでしょうか。現役世代の苦境を直視しながら、高齢者も安心して暮らせる持続可能な社会を目指す契機にしなければなりません。

最大の争点だった物価高対策を巡り、自民党は物価上昇を上回る賃上げを訴えましたが、実質賃金のマイナス基調は既に3年以上続いていますから、賃金の上昇を唱えても説得力に乏しかつたように感じます。「令和の米騒動」で物価高の象徴となつたコメの価格抑制策も主要な争点でしたが、政府備蓄米の随意契約による放出は一定の効果を上げましたが、農業政策への不安は払拭できなかつたと思います。

今後の県政への中長期的な影響と課題について議論してまいります。



スマートフォンでも県議会画面中継

ブログ報告



動画報告



フェイスブック



フェイスブックページ



ツイッター



参院選を終えて未来への責任と地域の課題～暮らしを守る政策を推進・現場主義で地域発展へ、そして信頼と実行で応える政治



地域の元気 日本の再生

経験・信念・実行力。
 確かな判断力と行動力で、
 全力で働いてまいります!!!

参議院自由民主党幹事長
松山まさじ

地域の元気 日本の再生
 参議院自由民主党 幹事長・参議院議員
松山まさじ



令和7年度当初予算編成の考え方

未来への礎を築き、飛躍・発展する福岡県へ

- 人を育て、人を惹きつけるまちをつくる
- 産業を育て、はたらく場を広げる
- 健全な環境と、安全・安心な暮らしを守る

一般会計歳入歳出規模

2兆1,878億円 (対前年度比557億円、3%の増)

財政改革プランの目標達成状況

	財政改革プラン		7年度未見込
	目標	7年度未見込	
環境税高 (普通会計ベース)	〇やむを得ない要因(※)を除いた 令和8年度末の通常償還額高を 令和3年度末より500億円程度圧縮	令和3年度末に比べ 385億円の減	令和3年度末に比べ 682億円の減
財政調整基金等三基金高 (財政調整部分)	〇令和8年度末の財政調整基金等三基金高を 400億円~500億円確保	493億円	739億円

※ やむを得ない要因：災害復旧・復興対策、国の防災・減災、国土強靭化への対応、国の補正予算対応、取組補償債発行、コロナ感染対策

一般会計予算のフレーム

区分	令和6年度		令和7年度		比 較	
	A	B	増減 B-A	増減 B/A	増減 B-A	増減 B/A
人件費	3,950	3,979	29	100.7		
社会保険費	3,839	4,047	208	105.4		
公債費	2,469	2,524	55	102.2		
公	1,155	1,129	▲26	97.7		
公債事務費	789	894	105	113.3		
県	183	140	▲43	76.5		
県道県庁舎費	183	140	▲43	76.5		
出	2,123	2,134	11	100.5		
災害復旧費	156	148	▲8	94.9		
行政機関費	4,343	4,147	▲196	95.5		
地方交付金等	4,297	4,651	354	108.3		
その他	184	249	65	135.3		
合 計	21,321	21,878	557	102.6		

歳出

- ◆人件費 +29億円(+0.7%)
 - 給与改定等に伴う給与費の増：+149億円
 - 特別交付金手当の減：▲4億円
 - 定年引上げ(61歳~62歳)に伴う退職手当の減：▲108億円
- ◆社会保険費 +208億円(+5.4%)
 - 保育士の処遇改善等による保育給付費の増：+76億円
 - 高齢化の進捗等による後期高齢者医療費の増：+49億円
- ◆行政機関費 ▲19億円(-0.5%)
 - コロナ職員の高齢化に伴う預託金等の減：▲390億円
 - 緊急時に備えた職員確保等に伴う預託金等の増：+215億円
 - 小中学校の一人一台端末更新支援費の増：+61億円
- ◆その他 +65億円(+3.3%)
 - 退職手当基金積立金の増：+50億円

歳入

- ◆県税等 +785億円(+7.9%)
 - 企業業績の堅調な推移に伴う法人二重課税
- ◆地方交付税 +122億円(+4.1%)
 - 地方財政計画において、地方交付税額が増えたことに伴う増
- ◆県債 ▲83億円(-4.5%)
 - 消費債 +61億円(+1.2%)
 - 県有施設の整備等に要する
 - 臨時財政対策債 ▲144億円(-6.6%)
 - 地方財政計画において、新規発行額が削減されたことによる
- ◆収支均等のための基金繰入金 なし
- ◆地方交付税積算等のための基金繰入金 305億円
- ◆その他 ▲354億円(-16.4%)
 - コロナ職員の高齢化に伴う預託金等の減：▲366億円

以下に主な施策予算を掲載します。

- ◆ 中小企業のM&Aによる事業承継を支援 2,004万円
 - 中小企業の技術やノウハウを守るため、M&Aの売り手、買い手双方の企業を支援
- ◆ 建設業における中小企業のDX化を推進 773万円
 - 建設業団体と連携し、DXによる働き方改革を推進するための研修会や現場体験会を実施
- ◆ 中小企業向け制度融資を充実 融資総枠8,646億円 (うち新規融資枠3,255億円)
 - 米国の関税措置により影響を受ける事業者の資金繰りを支援するため、「米国関税対策特別融資」を実施
- ◆ 成長の起爆剤となる「スタートアップ」を育成
- ◆ スタートアップエコシステムの形成を強力に推進 5,055万円
 - 「グローバルコネクタ福岡」を中心としてスタートアップの資金調達、ビジネスマッチング、海外展開を強力に支援
- ◆ 「金融・資産運用特区」として、国際金融機能形成を加速 2,929万円
 - アジアを代表する国際金融都市でのプロモーションや本県への進出に関心を示す海外企業の招聘を実施
- ◆ 新規創業企業の成長を支援 融資枠30億円
 - 「成長支援資金」を創設し、創業2年目から5年目までのディープテック、IT分野等の企業の成長を後押し
 - 【保証料】創業後2年目まで 県と信用保証協会で全額補てん(0.95%→0%)
 - 創業後3年目~5年目まで 県が一部補てん(0.95%→0.50%)

※()内の金額は、令和6年度当初予算額

19

- ◆ 水素グリーン成長戦略の推進
 - 「燃料電池商用車の導入促進に関する重点地域」として、FCトラックの導入を推進 8,769万円 (4,500万円)
 - 【新】FC大型トラックの性能や特長について理解を高めるための試乗会を開催
 - FCトラックの既存燃料(軽油)と水素価格の差額を支援
 - FCトラックに対応した水素ステーションの運営を支援
 - ◆ 水素サプライチェーンの県内各地への展開を推進 1,025万円
 - 地産地消型の水素製造プロジェクトの事業可能性調査を行う事業者を支援
- ◆ 世界で勝負できる「先端技術産業」の創出を加速
- ◆ バイオスタートアップエコシステムを形成 1,165万円
 - 創業関連事業者等の交流活動を支援
 - 首都圏の製薬企業・投資家等を対象に県内バイオスタートアップ情報を発信
- ◆ 宇宙ビジネスを振興 1,313万円
 - 「宇宙ビジネスプロモーター」による県内企業への宇宙ビジネス参入・拡大支援、大規模国際会議(APRSAF)の誘致を実施
- ◆ イノベーションを推進する「未来ITスタートアップアワード」を創設 892万円
 - 福岡のIT産業をけん引する革新的なIT技術やビジネスプランを一体的に盛りこす新たな表彰制度を創設

※()内の金額は、令和6年度当初予算額

21

- ◆ 水田農業の競争力を強化 1億4,495万円 (1億4,495万円)
 - 農作業集約化及び生産規模拡大に取り組む担い手が行う機械の導入を支援
- ◆ ノリ養殖の強い生産構造を確立 888万円 (1,444万円)
 - ノリ養殖経営の大規模化に向け、収穫作業が省力化できる高性能漁船に適した生産体制の検証や、法人化を目指すノリ養殖経営体へのアドバイザー派遣を実施
- ◆ 環境変化に対応した漁業の推進 1,789万円
 - 豊前海において、貧酸素水塊の発生を予測し見える化するスマート漁業を導入
 - 筑後川と矢部川において、産卵に適した時期に親アユを放流するための生産技術確立
- ◆ 動物保健衛生所を整備 7億5,614万円 (1億2,896万円)
 - 老朽化した筑後家畜保健衛生所をみやま市に移転し、ワンヘルスセンターの一翼を担う施設として整備する動物保健衛生所の建築工事を実施
- ◆ 販売力を強化し、「稼げる農林水産業」を実現
- ◆ ワンコインブーケではじめよう! 花ある暮らし 915万円
 - 若い世代の花の消費拡大に向け、気軽に花を買い親しみ機会を創出する「ワンコインブーケ」をPR
- ◆ 県産米の魅力発信を強化 400万円
 - おいしい米づくりの取組や米の栄養価を紹介

※()内の金額は、令和6年度当初予算額

23

- ◆ 20周年の「博多和牛」の競争力を強化 821万円
 - 博多和牛を取り扱う店で販売コーナーを強化するなど消費拡大に向けた流通業者・消費者へのPR、肉質向上対策を実施
- ◆ ハラル認証県産和牛の販売体制を確立 534万円
 - インバウンド需要やイスラム圏への輸出の高まりを捉え、ハラル認証県産和牛の販売体制を確立
- ◆ 野生鳥獣をペットフードに利活用 2,275万円
 - 未活用の捕獲獣を県産で収集し、ペットフード原料として有効活用する取組を支援
- ◆ 「ふくおか魚」の取引拡大を推進 1,362万円
 - 県産水産物の取引拡大を推進するため、「ふくおか魚応援の店」においてインバウンド客や企業・有明地域の観光客に向けたフェアを開催
- ◆ 稼げる林業をつくる! 収益力を向上 3,094万円 (2,530万円)
 - 【新】収益が最大化するよう自動で採材するICT高性能林業機械の普及や、成長が早く育林コストの低減を図ることができる特定苗木への転換を推進
 - CLTの県産材シェアを拡大するため、運搬方法の見直し等による流通経費の低コスト化を実現

※()内の金額は、令和6年度当初予算額

24

- ◆ 嘉麻市産業廃棄物中間処理施設において行政代執行を実施 2億5,006万円
 - 残留廃棄物による生活環境の支障のおそれを取り除くための工事を実施
 - 生活環境への影響を確認するため、施設内や周辺のモニタリングを実施
- ◆ 脱炭素化を推進
- ◆ 中小企業の脱炭素経営を推進 6,400万円
 - 温室効果ガス排出量の算定や削減目標の設定、省エネ・再エネ設備導入計画の策定を支援し、中小企業における脱炭素化を推進
- ◆ GBNet福岡による使用済みEVバッテリーの資源循環モデル構築 2,314万円 (1,451万円)
 - 中古EVのリースを通じたEVバッテリーの安定回収を認証
 - 県内企業のリユース蓄電池市場への参入促進セミナーを実施
 - GBNet福岡参加企業によるレアメタル抽出技術の確立を支援

- ◆ 「ワンヘルス」の取組をみんなで推進
- ◆ ワンヘルスを理解しよう
- ◆ 幼児期から学齢期におけるワンヘルス教育を推進 1,203万円
 - 幼児向け絵本の作成や幼稚園教諭・保育士等へのワンヘルス教育の実施方法などに関するセミナーを実施
 - 各校の教育方針に沿ったワンヘルス教育を推進するため、私立小中学校に専門派遣講師や教員向けセミナーを実施
- ◆ 特別支援学校におけるワンヘルス教育を推進 475万円
 - 児童生徒の障がい特性に合わせた教育啓発資料を作成
 - ワンヘルスマスター等の外部講師と教員が連携したワンヘルス教育を実施
 - ドッグセラピーを実施し、動物介在教育の効果を検証
 - ワンヘルス学習推進モデル校においてカリキュラム開発を実施

「株式会社クリエイティブジャパン」の創立25周年祝賀会



上香春公民館総会



福岡県立大学校入学式



筑豊横断道路建設促進期成会定期総会



公益社団法人 福岡県宅地建物取引業協会定時総会



田川地域国道整備促進期成会・主要地方道田川直方線沿線整備促進期成会



県への要望・陳情活動、地域活動



自由民主党福岡県連年次大会 = 「政治は国民のもの」立党70年、決意を新たに！ =



- 略歴**
- 昭和53年 添田町立添田中学校卒業
 - 昭和56年 福岡県立田川高等学校卒業
 - 昭和60年 日本大学商学部会計学科卒業
 - 昭和60年 麻生セメント株式会社入社
 - 平成2年 株式会社麻生情報システム 取締役
 - 平成12年 株式会社麻生情報システム 取締役
 - 平成13年 株式会社麻生情報システム 代表取締役
 - 平成23年 福岡県議選(田川郡区) 初当選
 - 平成27年 福岡県議選(田川郡区) 2期目当選
 - 平成31年 福岡県議選(田川郡区) 3期目当選
 - 令和5年 福岡県議選(田川郡区) 4期目当選
- 福岡県議会での主な所属**
- 自民党福岡県連
 - 県民生活商工常任委員会 委員
 - 国際化・多文化共生社会調査特別委員会 副委員長
 - 福岡県消費生活審議会 委員
 - 福岡県文化議員連盟 副会長
 - 福岡県タイ友好議員連盟
 - 福岡県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟
 - 福岡県日韓友好議員連盟 副会長
 - 福岡県日米友好議員連盟
 - 福岡県日中友好議員連盟
 - 福岡県国際交流推進議員連盟
 - 福岡県ベトナム友好議員連盟
 - 福岡県日台友好議員連盟
 - 福岡県防衛議員連盟
 - 福岡県果樹振興議員連盟
 - 過疎地域活性化対策福岡県議員連盟
 - 産地地域活性化対策福岡県議員連盟
 - オイスカ国際活動促進福岡県議員連盟
 - 福岡県観光産業振興議員連盟
 - 福岡県地域公共交通事業振興議員連盟
 - 福岡県スポーツ議員連盟
 - 九州・沖縄未来創造会議
 - 九州の自立を考える会
 - 日本会議福岡支部
 - 田川直方バイパス延伸推進期成会 顧問
 - 田川広域観光協会 理事
 - 下関北九州道路整備促進福岡県議員連盟
 - 福岡県日田彦山線沿線地域振興推進協議会 委員

